

民衆の声  
ボイス

No.105

公明党 横浜市会ニュース

# VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

## 令和6年度 横浜市予算要望書を提出

公明党横浜市会議員団は、10月18日、令和6年度予算編成に対する要望書を山中竹春横浜市長へ提出。日常の広聴活動や団体との政策懇談会などで頂いたお声を、「防災・減災」「子育て」「高齢者福祉」など347項目の政策要望として構成したものです。市長より「しっかりと受け止め、予算編成に反映する」旨、応えて頂きました。



## 上瀬谷のまちづくり 郊外部の新たな活性化拠点

### GREEN×EXPO 2027を開催

横浜発の万博として「新しいグリーン万博」を開催。自然・人・社会が共に持続するための最適解を横浜・日本から発信し、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する万博を目指しています。



### 上瀬谷「観光・賑わい地区」の事業者予定者が決定

このほど事業者予定者が、三菱地所(株)(東京都)に決定。ジャパンコンテンツと最先端のジャパンテクノロジーを活用した次世代型テーマパークとして、2031年頃にオープンする計画。将来的に1500万人の来場者を目指しています。



### 公明党五大市政研究會を開催

横浜・大阪・神戸・名古屋・京都の五大市公明党による「行政のデジタル化推進」についての政策研究会を神戸市内で開催。デジタル化加速の国への要望に繋がります。



### ■ケアマネジャーを守る窓口を検討!

ケアマネジャーの人材確保、離職防止へ、処遇改善と合わせて、ケアマネジャーを過剰な要求やハラスメントから守るための対策を要望。処遇改善に向けた国への要望とともに、相談窓口の設置が検討されます。

### ■LINEで子ども・若者相談がスタート **実績!**

公明党市議団は「子ども・若者がより相談しやすい環境整備にLINEを活用すべき」と訴えていたもので、相談者に寄り添った運用が期待されます。

LINEで相談に相談

よこはま子ども・若者相談室

ひとりで悩まず相談してみませんか?

匿名 無料 24時間

相談時間 月、水、日曜日 14時～21時 (年末年始を除く)

相談内容

- 友人関係や進学・就職など全般
- ひきこもり相談

対象者 横浜市内在住の子ども・若者や、そのご家族など

詳しくはこちら>

### ■お悔やみ窓口をモデル設置へ **実績!**

死亡に伴う煩雑な手続きの負担軽減へ、各種申請書の作成、補助、受付をワンストップで行う専用窓口の設置を要望。来年1月からモデル区(鶴見区・瀬谷区)で実施されます。

## 令和5年 第3回定例会における論戦より

9月12日、横浜市会にて初登壇し、18項目にわたり山中市長へ一般質問を致しました。

### 産後母子ケアのさらなる充実を



全国に先駆け産後母子ケア事業を開始した横浜市には、現在はショートステイ、デイケア、訪問型の3つの支援があります。ショートステイ、デイケアの利用は1割を、訪問型は5割を利用者に負担いただいている現状を鑑み、訪問型の利用者負担を軽減すべきと考え、市長に見解を求めました。

市長から、「訪問型に利用料の減免補助を活用して、1回の利用料4000円から1500円に引き下げたい。年内には実施できるよう、現在、受託先や関係機関との調整を進めている」との答弁を引き出しました。

### 市営地下鉄のバリアフリー推進



「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」の実現のためには、誰もが自分の行きたい場所に自由に移動でき、様々な活動に参加できるよう、市営地下鉄など公共交通機関を利用した移動のしやすさが必要です。特に高齢者や障害のある方にとっては、バリアフリーで使いやすい駅であることが大変重要ですが、市営地下鉄の現状は、トイレがオストメイト対応となっていない駅もあり、和式便器が多く残っているなどの現状を改善すべきと訴えました。

交通局長は、「今年度は、センター南駅でトイレのリニューアルやホームと車両の段差と隙間を縮小する工事を始める」と応じました。



内臓障がい・内臓疾患の方へのオストメイト対応トイレ

## 都筑区 まちかどホットライン

### メゾン桜が丘の緑道



【ご要望】  
うっそうと樹木が茂り通りが暗く、夜が怖くて歩けない!



都筑区土木事業所のご協力により綺麗にすることができました!

### 東方のカーブミラー設置



【ご要望】  
源東院近くにある狭く、二股に別れる道。坂から降りるバイクや自転車と衝突して危険!



ミラーを設置して喜んでいただきました。

### 「フードロスをなくしたい!」

センター南にあるパンドットCOMの三浦社長から、「余剰パンを困っている方達へ役立てたい」との申し出があり、勝田団地のハロウィン行事の時に、子供達やウクライナからのご家族へ配布して喜んでいただきました。



{E-mail} ichiki.emiko.yokohama@gmail.com  
{ホームページ} http://ichikiemiko.jp

# 政務活動最前線

## 子育てを孤立させない取組推進へ

国のモデル事業として未就園児の定期預かりを行うシャローム保育園（青葉区）を訪問し、利用状況や利用者からの反響、課題等を聴取。本格実施に向けてより利用しやすい制度構築を模索します。



## ごみ焼却工場のCO2活用へ

鶴見焼却場を訪問し、三菱重工・東京ガスと連携して実施するCCU（CO2回収→メタン製造）実証実験の取組を視察。ごみ処理においてプラスチック由来のCO2発生比率が高く、実効性の高い温暖化対策へCO2回収・活用技術の確立が欠かせません。



## 校内に不登校生徒の「居場所」を提供

橋中学校で行っている「校内ハートフル事業」等を視察。本市では現在、55校に教育支援センターを設置。各校が教科担任による個別指導や、オンライン教材を活用して生徒支援を、2025年度までに全中学校への設置を目指しています。



## アレルギー対策強化へ

横浜市に住む、1人のお母さんから受けた相談をきっかけにして、公明党が長年取り組んできたアレルギー対策。市の拠点病院である、みなと赤十字病院アレルギーセンターを訪問し、機能充実に向けて意見を交わしました。



# 令和4年度決算特別委員会の論戦より

### 決算特別委員会総合審査

#### 公園の早期、禁煙化を推進



長年訴えてきた受動喫煙対策。横浜市は今夏、公園のあり方についてアンケート調査を実施。子育て世代では8割超の方が公園での喫煙は迷惑と回答。そこで「早期に公園を禁煙とすべき」と訴えました。

市長は「市内5つの公園で10月中旬から約1か月間、園内禁煙を試行する。来園者へのアンケート等を実施し、結果を踏まえ、実効性のある対策を確実に進める」と応じました。



### 水道局

#### 安全で良質な水を



本市浄水場の水源である馬入川（相模川）での工場排水による水質汚染について、本年3月に流入する河川から有機フッ素化合物が検出されたとの報道もあり、今後の取組の強化について伺いました。

局長は、「流入する河川や水路でも測定し、検出の際には、発生源の調査を行う、また降雨時での河川流入も考慮して、原水の変化について調査する。さらに、効率的な監視強化に向けて県内の水道事業者と測定を行う」と答弁しました。

### 資源循環局

#### 必要とする方に「ふれあい収集」を



集積場所までごみを持ち出すことが困難なひとり暮らしの高齢者等を対象として、玄関先まで職員が訪問しごみの収集を行う「ふれあい収集」。高齢化が進み利用者は年々増加しており、なくてはならない取り組みと考え、必要な方が確実に利用できるように対応すべきと訴えました。

局長は、「希望される方へ漏れなくサービスを提供できるように、しっかりと工夫をしながら取り組んでいく」と応じました。



### 交通局

#### 南部病院再整備でのアクセスの向上を



南部病院再整備に伴い、1.4km離れた場所に移転となります。通院者等の利便性や費用負担などを考慮し、既存のバス路線の充実や、無料のシャトルバスを用意すべきであると考え、「アクセス向上支援の観点から、どう進めていくのか」伺いました。

副市長は「アクセス手段や交通対策なども含め、病院利用者の利便性などを高めるための最良の手法について、検討を重ねながら事業を進めていく」と答弁しました。



### 市民局

#### 学生や現役世代の地域活動への参加



自治会町内会役員の高齢化や担い手不足の課題に対しては、地域活動に興味・関心を持つ学生や現役世代の方が参加しやすい環境づくりが重要です。イベントやボランティア募集等に興味を持つ若い方が、必要な地域情報を得られる取組について質問しました。

局長より「デジタル技術で地域情報を一元化・一覧化するとともに、地域活動に関心のある皆様へ、欲しい情報を分かりやすく届けることから対応していきたい」との答弁がありました。

### 教育委員会

#### グローバル教育の推進



グローバル人材の育成には、多様な文化や違いを受入れた上で、社会へ貢献できる心を育む教育が重要と考え、今後の取組について質問しました。

教育長は、「国際会議などのボランティアなど機会を増やし、英語による実践的な能力やグローバル社会への興味を高める。国際理解の取組では、オンラインも活用し、より多くの国の文化や生活に触れる機会の拡充を検討していく」と答弁しました。

### 建築局

#### 市営住宅共用部分の負担軽減を



市営住宅での共用部分の代行管理とにかかる共益費の徴収を、横浜市が担う新たな制度について、共益費の値上げにならないようにコストを抑制するよう求めました。

局長は、「清掃の代行にかかるコストは、業務内容・範囲、作業スケジュールの効率化を徹底することで抑制し、代行管理メニューの計画作成には、負担可能な金額のプランや見積額を提案し、満足度の高い内容として支援していく」と答弁し、令和6年12月からの開始も可能とすると応じました。



### 財政局

#### 税務手続のデジタル化で利便性の向上を



申告と納税という税務手続の利便性向上には、継続したデジタル化の推進が必要と主張し、今後実施予定の税務手続を質問しました。

局長から、①令和7年1月から、住民税の電子申告を開始。②令和6年度分から、住民税の納税通知書に印字されたQRコードによる電子納税を開始。③令和6年度から、会社員向けに現在は紙で配られている個人住民税の特別徴収税額通知書の電子化を開始する旨、新たに3つの手続をデジタル化するとの答弁を得ました。